

グループ ピンク ③	藤上 果歩	SI 広島-中央	広島県立廿日市西高等学校
<p>今回、ユースフォーラムに参加させて頂いて、自分の学校や県などの狭い空間での活動では得ることのできないことを学びました。</p> <p>例えば自分の論文やパワーポイントを作り、多くの人の前で話をするという点では残りの高校生活や進学してから就職してからなど直接的につくることはないかもしれませんが、論文を作るときは、何回も文章をなおして頂いたり、パワーポイントを作る際にも、パソコンなどをあまり使わないアナログ人間の私に、作り方やパワーポイントを実際に使った練習に付き合ってくださいました。顧問の前平先生や私を推薦し、引率して下さった広島-中央のオブザーバーのみなさんに助けられ支えられてきました。本当に感謝しています。</p> <p>行きの新幹線では「なんで私みたいなとんちんかんな生徒が廿日市西高校の代表なのか…」と、とても不安でしたが、ピンクチームのみんなと仲よくなるにつれて意識が変わり、「来たからにはたくさん考えて色んな人の考えを吸収しよう！」と少しずつポジティブに考えるようになりました。吸収したことを学校で積極的に話し、色んな人に考えてもらうということが私にできる行動であり、ユースフォーラムに参加した私の使命だと思っています。今回参加したユース 41 名やソロプチミストの方々と関わることができ、誇りに思っています。ありがとうございました。</p>			

グループ ピンク ④	藤田 恵利花	SI 西条	愛媛県立西条高等学校
<p>今回、ユースフォーラムに参加させて頂き、様々なお話を聞き、討論することで、今までに出会ったことのない価値観や素晴らしい仲間と出会うことができました。最初は、緊張しすぎてどうしたらいいのか全く分からず、プレゼンもダメダメで終わってしまったのですが、その後、他の方のプレゼンを拝見し、自分と同じ世代にこんなすごい人たちがいるのかと感心すると同時に、折角このような機会に恵まれたのだから、精一杯討論に参加し、素晴らしい感性を持った方たちと積極的に交流していきたい！という思いがめばえ、それまでの緊張感などすっかりふきとんでしまいました。グループ討論やグループ研究では、グループの方々の様々な視点からの意見に刺激を受け、私自身も積極的に意見交換をすることができたように思います。グループ発表に向けて深夜まで議論を重ねていく時間は、大変でしたが本当に有意義なものでした。素敵な仲間達と出会い、それぞれ違う考え方を一つの方向に向かってまとめていくことで、短い間でしたが、お互いを知り、絆を深め合うことができたように思います。</p> <p>最初は嫌々参加したユースフォーラムでしたが、自分で考え、行動するということの意義を知り、多くの素晴らしい仲間と出会うことができ、今は本当にこんな素晴らしい活動に参加できたことを嬉しく、誇らしく思っています。参加をすすめて下さった先生、ソロプチミストの皆様、そして仲間達に感謝します。</p>			

グループ ピンク ⑤	藤原 有希	SI 総社	岡山県立総社南高等学校
<p>今回、私がこのフォーラムに参加したいと思った理由が何か挑戦したり、自分のことを知らない人達の中でどれだけのことができるのかを試してみたいということでした。しかしジェンダーの問題に今まで興味を持っていなかったので、知識ゼロのところから論文やプレゼンの原稿を作っていました。それを通して、ジェンダーについてのニュースや記事を見るようになったり、SNSを利用して情報を得ることができたので、新しい自分を築いているようで、とても楽しかったのです。そして、2日間のフォーラムでは色々な環境で育った色々な意見を持った同年代の人達と交流ができて、私自身の考え方などが変わったように思えます。短くも濃厚なこの2日間は私に勇気や希望、そして新しい仲間を与えてくれました。プレゼンや、講演、グループでの討論、研究、発表を仲間と共に経験できたことは、私にとって本当に良い刺激になりました。臨機応返に対応し、自分の意見をしっかり持ちながら、周囲との絆を大切にしていくということは本当に大変でしたが、新しいことに挑戦し、自分をみつけていくことができたので、私はこの国際ソロプチミストのユースフォーラムに参加できて本当に良かったと思っています。今後、ここで学んだことを生かして、色々なことに挑戦していきたいです。</p>			

グループ ピンク ⑥	池田 美月	SI 山口	中村女子高等学校
<p>今回ユースフォーラムに参加させて頂き、自分の視野を広げる事が出来ました。「女子力」というテーマで2日間グループ内で討論を行い、沢山の意見を聞く事で自分の考えが深まり、自分の考えが相手に認められるなど、とても貴重な時間になりました。</p> <p>正解も不正解もないテーマについて同世代の女子同士で話し合い、具体的な例や日本の現状、自分達の理想と対比しながら、一つの意見を出すことはとても難しかったです。このユースフォーラムに参加するまでは、自分自身が抱いていた偏見や固定概念から論文を書いたり、日々生活をしていました。基調講演やプレゼンテーション、グループ討論を通して、様々な角度から様々な人の立場になって考えなければならない事を実感しました。この2日間を通して、中四国の女子高生と交流が出来、友達も作る事が出来ました。私は今回この経験を、出来るだけ多くの人に伝え、多くの人の心を揺らす事が出来るように、発表をしたり、文章にまとめていきたいです。そして、ジェンダー問題や人間が人間として性や生を全う出来るように、社会全体、日本全体、世界中全体で問題に取り組める日がくる事を願っています。今回は、このような貴重な体験をさせて頂いて、本当にありがとうございました。一生忘れる事の出来ない、大切な青春の1ページとなりました。</p>			

グループ ピンク ⑦	久保 美早妃	SI 安芸	高知県立安芸中・高等学校
<p>私は今回このユースフォーラムに参加させて頂き、グループの中でまた全体の中で多くの事を学ぶことができました。現在日本では女性の就労率が減少しています。その原因として挙げられることは、女性に向いている仕事が制限されること、社会環境の中で女性のサポートする制度が整っていないことです。私は将来、自分が男女が平等に仕事を行い、安心して働ける環境の職場に就きたいと思っています。しかし、女性が出産や育児を行いながら仕事を続けていくことが難しいと考えます。ですので、私は他のグループ内であった、会社にカウンセリングを設置したり、託児所を設置することが必要だと思いました。今の日本では難しいかもしれませんが、10年後、20年後に私達が働き出したときには、今よりも女性が働きやすい職場環境になっていたらいいなと思います。</p> <p>また、グループ発表では、印象に残った事柄がたくさんありました。女性は「望まない退職」をする人が多く存在するということです。その原因として、託児所に払うお金がないことや、男性が積極的に育児参加をしないということです。それらを防ぐには、周りの人に協力してもらい、女性が男性に対して育児参加を促すことが重要です。男女がお互いに協力し合えば、安心して仕事ができるということが分かりました。</p> <p>この2日間を共にしたグループの皆さん、関係者の方々本当にありがとうございました。</p>			

グループ ピンク ⑧	東 麻紗実	SI 高梁	岡山県立高梁高等学校
<p>今回、ユースフォーラムに参加させていただき、ありがとうございました。</p> <p>先生からこのユースフォーラムの話聞いたとき、私にできるのかなと心配でした。大勢の人の前で話すことが苦手なので、ここに来るまで本当に不安でした。しかしグループの仲間はとてもフレンドリーな人が多く、すぐに打ちとけることができ、参加できてよかったと思いました。</p> <p>今年のテーマ、「女子力」とは何か、グループ討論で話し合い、いろいろな意見を聞くことができました。自分とは別の意見も多く出たので、自分の思考も深まり、とてもいい刺激になったと思います。その後、グループ討論で出た意見をまとめる作業をしました。どうまとめるか話していく内に、ジェンダー問題の壁があるという話になりました。ジェンダー問題をなくしていくためには、まず知ってもらうことが大切です。では知ってもらうためには何ができるのか、など話しているとあっという間に時間は過ぎ、まとめ終わったのは明朝3時半でした。その苦勞のおかげで翌日のグループ発表では、うまくまとめたものを発表できたと思います。遅くまで作業をしたおかげで、グループ内の仲もより深まったと思います。</p> <p>この2日間、大変だったこともありましたが、それ以上にとても楽しく過ごせたと思います。</p>			

グループ ピンク ⑨	広本 穂花	SI 真庭	岡山県立勝山高等学校
<p>私はこの2日間、本当に楽しく過ごすことができました。岡山県北から参加するのは自分1人だけで、ここに来るまで“ちゃんと話せるかなあ”とか“友達つくれるかなあ”とか不安もありました。でも会場に着くと同じグループの子が話しかけてくれてとても安心することができました。</p> <p>1日目のグループ討論では、その日知り合った人ばかりの中で緊張もありましたが、話し合ううちに自分の意見もきちんと言え楽しむことができました。また自分とは違う意見をたくさん聞くことができ、自分の視野や考え方が広がったとともに良い刺激を受けることができました。</p> <p>その後の夕食会では、シャッフルグループで色々な人と話ができ嬉しかったです。またお楽しみ会ではメンバーで協力して1位をとることができました。</p> <p>グループ研究に深夜までかかりグループ全員で1つのものを作り上げました。発表に緊張したけど、自分たちなりの発表ができ良かったと思います。</p> <p>この2日間で学んだ事や思ったことを周りの人などに伝えていくことが大切だと思います。このフォーラムの中で困ったり戸惑ったりする事もありましたが、私がこんなに楽しく過ごせたのは、みなさんのおかげです。この出逢いを大事にして、これからも様々なことに挑戦していきたいです。今回は本当にありがとうございました。</p>			

グループ ピンク ⑩	宮脇 育子	SI 倉吉	鳥取県立倉吉東高等学校
<p>女という立場は、何とも難しい。「弱い」と思われがちで、時に男になめられることだってないわけではない。今回のフォーラムで私は初めて「女」と向き合った。女性、女子とは本当に魅力的で素敵な性別だと思った。</p> <p>鳥取県からの参加は1人だけ、初めて参加したこの企画。戸惑った。だが、やはり女性はすばらしいと思った。なぜなら、女同志って楽！話しやすい！と思ったからだ。私が振り分けられた、ちーむピンクの皆は本当に素敵な高校生だった。私は、今回夜な夜な仕上げたプレゼンの内容、作った時の雰囲気、交わした会話…決して忘れられないと思う。また、今回最後のプレゼンを作るにあたって、ちーむピンクの皆の本当に素敵な高校生だった。私は、今回夜な夜な仕上げたプレゼンの内容、作った時の雰囲気、交わした会話が決して忘れられないと思う。また、今回最後のプレゼンを作るにあたって、ちーむピンク皆の原稿を熟読した。1人1人全然違う。だが、チーム皆の意見を何度も交わした中で、他人の考えも受け入れ、かつ、自分の意見を貫くという姿が、私は本当にスゴイなと思った。</p> <p>さらに、このフォーラムに参加した高校生は皆良い人。単純にとかではなく、ただ純粋に良い人だった。チーム内で「女子力=人間力」という話が出た。今、昨日今日を振り返るとユースの皆は、本当にただの高校生ではない。スーパーキラキラ高校生だ。</p> <p>女で生まれてきたということは、私は女として精一杯女を楽しむ権利がある。今回で私たちが提言したことはすべて実現すべきことだと思う。私は、これから、女性として誇りを持って生きたい。素敵な仲間に出会えて幸せ。</p>			